|  |
| --- |
| ２０２２年１月　　　　　　関西総合調査業協会会報　　　　　０４２号 |

***関調協会報***　　　　　　　　　一般社団法人**関西総合調査業協会**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大阪市北区西天満１-１０-１６

Tel 06-6313-4567　fax 06-6313-4566

**倫理綱領**

**一、会員は、調査業の社会的使命を自覚し、誠実な職務遂行によって社会に貢献すること。**

**二、会員は、全ての業務において法を順守し、社会常識を逸脱するような行為をしないこと。**

三、会員は、契約を信義に基づく誓約とみなし、矜持をもって調査に当たること。

**四、会員は、人格を磨き、能力を高め、顧客満足の実を挙げるよう努めること。**

**五、会員は、人びとの名誉、権利を尊重し、部落差別調査の廃絶に努めること。**

**六、会員は、業務上知り得た情報並びに機密の秘匿、保持に努めること。**

**七、会員は、相互に協調し、連帯感有る活動を通じて業界の発展に努めること。**

松谷廣信の死去について

当、一般社団法人関西総合調査業協会会長松谷廣信が、去る令和３年１１月１０日に７３歳の生涯を閉じられました。

松谷会長は、平成１５年に当協会の前身組織であった関西調査業協会を発起人として立ち上げられ、以降、強い信念のもと、調査業の健全な発展と社会的地位の向上など関西のみならず全国においても、長年にわたり、ご自身のライフワークとして協会活動を行ってきた調査業界における最大の功労者の一人でございます。

私たち役員一同、松谷会長の遺志を受け継ぎ、当協会の一層の発展のため尽力してまいる所存であります。

どうぞ今後とも変わらぬご協力ご支援をお願い申し上げます。

第３3回理事会（開催日時 令和3年6 月21日）

議 案

１．総会について

「審議事項」

・令和2年度決算及び令和3年度予算案の審議

令和2年度の事業報告及び収支決算について理事会に諮ったところ、理事全員の賛成により異議無く承認された。

また、引き続き、令和3年度事業計画及び収支予算案を理事会に諮ったところ、理事全員の賛成により異議無く承認された。

２．役員改選について

松谷会長から令和3年度から新役員について、新会長に横田正人、監事から新たに理事に足立正輝、新たに監事に東田康孝と以上の通り、役員改選案が提議される。

３．その他理事定義事項

去る令和３年３月１０日から１２日にNPO法人全国調査業協会連合会との共催で、オンライン配信にて開催されたことについては概ね好評であった。

その他、特段の決議事項は無かった。

1. 回理事会（開催日時 令和3年１２月10日）

議 案

１．役員改選について

横田会長より去る本年11月10日に逝去された前会長で理事の松谷廣信にかわり、新たに理事として、吉本哲雄を推薦する役員改選が提議される。

２．会報発行について

関調協会報の発行について協議した結果、令和３年2月初旬までに会報誌の発行を決定し、理事・役員は新春放談としての投稿を了承した。

３．業界情勢について

* 12月に関調協のWebサーバーが悪意あるプログラムによる攻撃を受け、専門業者による診断を受けて、サーバーシステムが回復した旨の報告があった。
* 昨年から続くコロナ禍の中で、各理事の社内における創意工夫や業務改善状況などを話し合う。
* 会長より教育研修会をNPO法人全国調査業協会連合会との共催で企画しており、令和4年3月あたりにオンライン配信で行う旨報告される。

４．その他理事提議事項

会長よりコロナ禍になる前まで定例であった大阪府庁・大阪府警への年始挨拶回りを再開する旨の提議がされる。なお、感染状況の推移を見ての判断とする。

また、令和4年度事業計画としては例年通り以下とする。

第１ 基本方針

① 「探偵業の業務の適正化に関する法律」の遵守と周知の徹底を図ると共に、調査業界の健全化を図る

② 組織拡大の積極的推進に努める

③ 会員の順法精神の意識啓発に努め、教育研修会を実施する

④ 苦情処理の研究と対応に努める

⑤ 広報活動の推進に努める

（１）監督官庁及び関係団体との連携を密にし、協会活動の事業に対し理解と協力を求める

（２）機関紙の発行

⑥「特定非営利活動法人全国調査業協会連合会」に団体加盟すると共に他団体との連携を密にして活動する。

⑦ 「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」の遵守に努め､倫理意識と人権意識の高揚に努める

⑧ 調査業の有用性の衆知に努め、社会から求められる調査の質の向上の為、積極的に権利の獲得をめざす

**令和３年度事業計画**

第１　基本方針

　　①　「探偵業の業務の適正化に関する法律」の遵守と周知の徹底を図ると共に、調査業界の健全化を図る

②　組織拡大の積極的推進に努める

③　会員の順法精神の意識啓発に努め、教育研修会を実施する

④　苦情処理の研究と対応に努める

⑤　広報活動の推進に努める

（１）監督官庁及び関係団体との連携を密にし、協会活動の事業に対し理解と協力を求める

（２）機関紙の発行

⑥「特定非営利活動法人全国調査業協会連合会」に団体加盟すると共に他団体との連携を密にして活動する。

⑦　「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」の遵守に努め､倫理意識と人権意識の高揚に努める

　⑧　調査業の有用性の衆知に努め、社会から求められる調査の質の向上の為、積極的に権利の獲得をめざす

**事務局便り**

**・令和２年中における探偵業の概況**

 １ 探偵業の届出状況

・令和２年末　/　届出業者数、6,379業者（前年比313業者増）

・業法の法律違反の検挙状況の推移（Ｈ30年～R2年）

　　　　　　　　　　　　　平成30年　　　令和元年　　　令和2年

　無届け営業　　　　　　　　　　1　　　　　　2　　　　　　　0

重要事項説明書虚偽等　　　　　0　　　　　　1　　　　　　　0

従業者名簿不整備・虚偽記載 　0　　　　 　0　　　　　　　0

指示処分違反　　　　　　　　　0　　 　　　 0　 0

その他　　　　　　　　　 　　 2　　 3 1

 業者に対する行政処分状況

　　　令和２年中における探偵業の業務の適正化に関する法律違反の検挙件数及び検挙人員は、１件１人（前年比－５件、－５人）であった。

　　業者に対する行政処分状況（指示）の内訳

　　　　　　　　　　　　　平成30年　　　令和元年　　令和2年

変更届出書等虚偽　　　　　　 8　　　　　　4 2

　　実施原則違反　　　　　　　　 4 6 3

 書面受理違反　　　　　　　　 3 2 1

 書面交付違反　　　　　　　　 8　　　　　　6 4

　　違法行為認知業務　　　　　　 0　　　　　　0 0

　　探偵業以外委託　　　　　　　 0　　　　　　0 0

　　守秘義務違反　　　　　　　 　1　　　　　　0 0

　　資料不正等利用　　　　　　　 1　　　　　　0 0

　　教育義務違反　　　　　　　 　0　　　　　　0 0

　　名簿不整備・虚偽　　　　　　 7　　　　　　6 1

　　証明書掲示違反　　　　　　　 2　　　　　　2 3

　　他法令違反　　　　　　　　 　5　　　　　　4 5

　　指示処分違反　　　　　　　　 0　　　　　　0 0

**新　春　放　談**

**「身近な存在に」**

**会長　横田正人**

　もうすでに皆様ご存じのことと存じますが、去る2021年11月10日、当協会松谷会長が逝去され、新年のご挨拶を失礼させていただきます。昨年6月の総会で当関西総合調査業協会の会長に就任しました横田と申します。まだまだ若輩の身で諸先輩方もおられる中、大役を仰せつかりまして、至らぬことも多々ございますが、今後とも皆様の相変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

　松谷会長は当協会の前身であった「関西調査業協会」設立時の発起人のお一人で、この記事を書く前に、これまでの会報のバックナンバーを遡って目を通してみますと、設立当初の設立メンバーの方の、「業界を良くしよう」という熱意が伝わってきます。また、松谷会長ご自身は、これまで協会活動を通して、特に私たちの業界に深くかかわる人権問題をライフワークとして取り組んでおられたことが、今でも強く心に残っています。この会報にも掲載されることもありましたが、業界内二部会で主に取り扱う採用調査の社会的な意義や必要性について、所轄官庁とも折衝されて、業界全体の大きな問題として、お骨折りをされていたことが今でも思い浮かびます。

　毎年、お正月明けに松谷会長のお供をして、大阪府人権局と大阪府警察本部の挨拶回りをさせていただいていたのですが、見た目のひょうひょうとした雰囲気とは裏腹に、意外と言うことは言うのだなというのが初めてご一緒した時の印象でした。正月の挨拶回りなので、そうそう突っ込んだお話しになることはないのですが、それでも人権問題に関する松谷会長自身の見解を人権局の担当の方にお話しをされる姿は、今後も私の当協会の運営の指針にしていきたいと考えています。

　さて、2020年から続くコロナ禍の中で、私たちの業界にも様々な影響があることは、ここ2年の会報誌面でも数々取り上げてきました。ソーシャルディスタンスにかかるリモート相談、人権問題（各種ハラスメント）、プライバシー保護強化、働き方改革、ＡＩ、ストーカー等規制法など法規制の強化……年々業務上の課題が増えて頭を悩ますことも多くなり、三部会の仕事では、マスクによる面割困難案件やリモートワークによる外出機会の減少、不貞の証拠収集が盗撮などと訴える事例などもここ数年耳にすることもあります。

　昨年末に夫の不貞にかかる素行調査をご依頼いただきました年配のご依頼者から、当該調査の報告書をお渡しした後に「必殺仕事人のようなお仕事ですね」と、お褒めの意味のお言葉をいただいたのですが、探偵業の地位の向上や社会的信用度や認知の向上などを考えると、やはりまだ裏仕事としての認知度の方が強いのかと、少し複雑な気持ちがいたしました。これが今の日本での探偵業界の立ち位置であることは、私がこの業界に入った30数年前と、あまり変わっていないと再認識させられました。

　この立ち位置が良いことなのか否かは、今の時点では私自身は判断に迷うところではありますが、最近の世の中の流れを考えると、まずは法規制にかかることから改善改革していくことと、探偵業ができる限り、世の中のなかの身近な存在になることが、今後のこの業界のテーマになるのではないかと思い、私自身もこのテーマをライフワークとして、この先10年後には少しでも変わっているように尽力したいと考えています。

　今の時点では「やや怪しい業界で周りにはいない存在」という認識でも、いつか少しずつでも「身近な探偵さん」と言われるような存在でありたいと思います。

　最後に重複を恐れず、今後とも会員の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げまして、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

**「追悼　故松谷廣信会長を偲んで」**

**副会長　竜田充子**

　「会長が亡くなりました」

　「えっ、どこの会長？」

　一報を受けたとき、あまりにも突然のことなので、それが松谷会長のことだというのは、すぐには理解できませんでした。

　コロナの影響もあって、最後にお会いしたのは数か月前でしたが、そのときは、何か月後かには亡くなられるとは想像もできないほどお元気だったので、これぞ青天の霹靂！本当に驚きました。

　ご家族も突然のことでさぞや驚かれ、だからこそなおさら悲しみが深いことだろうと思い至りました。そして、次に思ったのが、関調協のみならず調査業界全体にとって、本当に惜しい人材を亡くしたということです。

　そもそも、松谷会長は、ある差別事件をきっかけに、故有本憲二氏を中心として設立された大阪府調査業協会に当初から関わられ、一律的な「身元調査反対」運動に異議を唱え続け、採用調査を巡っての理論的支柱になってこられました。そして、大阪府調査業協会が反社会的勢力と関わりのあった人物と利害が一致したグループに総会を乗っ取られた後、中心となって関西調査業協会を立ち上げられて、調査業の発展に尽くしてこられました。

　大阪府調査業協会においても、関西調査業協会においても、松谷会長が会長職のときに私は専務理事を務めさせていただきましたが、側で見ていて、差別調査を巡っての理論的見識は確固たるもので、また調査業界のためなら労を惜しまず動く姿は協会員の精神的支えにもなってこられていました。まさしく、余人に代えがたい存在だったのです。

　これまで調査業界に尽力されてきた数々の先輩方が鬼籍に入る中、また一人、業界にとってかけがえのない方を亡くしたのは、本当に返す返すも残念です。

　現在、業界には諸々の課題が存在しています。しかしながら、業界は理念と方針を巡っていまだ四分五裂、まだ微々たる力で、なかなかその課題を解決していける力が備わっていません。

　よりよい業界を目指して粉骨砕身されてきた先輩方の努力に報いるには、その思いを引き継いで健全な協会活動を担っていくことだと思っています。

　私は、先輩方とこれから活動を担っていく若い世代とのパイプ役として、できうるかぎりの力を注いでいくことこそが先輩方の労苦に報いることだと、故松谷会長の死に接して改めて感じていることです。

　松谷会長のご逝去を悼み、心より哀悼の意を捧げます。

**専務理事　夏原佳代**

2022年も引き続きコロナウイルスとの戦いは続きそうですが、ワクチン接種の効果か、重症者数が少ないなどの若干の光も見えてきています。ウイルスが撲滅されるにはもう少しかかるかもしれませんが、これ以上経済に大きな打撃とならずに回復に向かうよう祈りながら、私どもは基本に忠実に目の前の課題に着実に取り組み、一歩一歩歩みを進めていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

また、昨年には私ども関西総合調査業協会の松谷会長がお亡くなりになるという悲しい出来事がありました。

松谷会長には、長年に亘って業界のリーダーとして協会の会長職を務めていただき、本当に感謝しております。

常に採用調査の必要性、特に「就職の際の身元調査」の定義を明確にしてもらいたいという強い考えを持っておられて、私どもにとっては本当に頼りになる活動をしてくださっていました。

就職の際の身元調査は差別につながるものではなく、採用時に不可欠なものであると説いていただいておりましたが、立場や視点が違うと誤解を持って否定されたりすることも多かったはずです。

そのような困難の状況の中でも、この調査が必要であると理解が得られるようになることをご自身のライフワークとしてやりつづけたいとおっしゃっておられました。

その信念を微力ながら受け継いでいかなければならないと改めて思っております。

末筆ですが、松谷会長のご冥福と協会の発展をお祈り申し上げます。

**理事　足立正輝**

昨年は新型コロナに始まった1年で、収束には今後数年はかかるといわれていますが、この正体の見えないものは情報が錯綜し、人を陰鬱に陥れているといわれていますが、経済の停滞が今後どのように影響を与えていくのか、未だ不安がぬぐえない状況です。しかし、日々押さえつけられたこの環境から、マスクをはずし街を闊歩したい要求は強くなっているはずで、どんな状況であっても、会いたい人に会うことの意味を知ってしまった以上、実のところこれまで以上に人との繋がりにこだわる人が増えて、現地に行かないことには絶対に味わえない世界を体感する旅の需要もより深まるのではないかと思っています。

　関西特有の観光地、外国人に人気のあった我が街、天神橋筋商店街もお祭騒ぎのように溢れていた外国人たちの姿はすっかり消え、予約の取れにくかった名店が窮地に立たされています。

　しかしながら、手を変え、品を変え、風が吹けば桶屋が儲かる、そんな図式がどこかで起きているのかもしれません。おそらくどんな事態であっても人の悩みは尽きないもので、やはり人を調査するという調査業においては、調査手法は変われど、依頼内容は何十年と変わりようのないものであったはずです。

　天神祭も戦後以来、中止となった昨年は悪疫（新型コロナウイルス）の退散を祈願する史上初めてYouTubeで神事動画のライブ配信を解説付きで実施したそうです。神事さえも人と向き合うことが出来ないリモートの時代になり、調査の相談も今後リモートが増えるのかもしれませんが、それでも密を覚悟で扉をノックするのが依頼人となりうる方でしょうから、いつでもお迎えが出来る準備を怠らず、時代の変化には新たな景気回復がいずれやってくる、そんな明るい兆しがあることを願っています。

**監事　東田康孝**

昨年6月に当協会の監事に就任いたしました株式会社ピ・アイ・オの東田と申します。恐らく、役員の方以外は私の事をご存じではないと思いますので、簡単に自己紹介をさせて頂きます。

　弊社は昭和47年に私の父が創業し、今年で５０年になります。創業当初は企業からの依頼が殆どで採用調査がメインでしたが、最近は、個人のお客様の依頼の方が多くなったことで、素行調査等を中心とした仕事をしています。

　業界団体については、当協会以外に全国調査業協同組合とＣＩＩ（国際調査協議会）の会員になっております。

個人的は話にはなりますが、趣味は2つほどありまして、１つ目は、カーレースを趣味にしておりまして、堺市にある堺カートランドというレーシングカート専用のレース場へ走りに行ったり、兵庫県のセントラルサーキットで開催しているヨーロッパ車限定の耐久レースに参加したりしています。

　もう1つは、ゴルフです。ここ数年はレースよりもゴルフにハマっています。会員の方でゴルフがお好きな方がいましたら、下手の横好きですが機会があればご一緒させていただけると幸いです。あと、お酒も好きですので、飲み会等で皆様と色々なお話が出来ればなと思っていますので、会員の皆様、今後とも宜しくお願いいたします。

　さて、ここ2年ほどは新型コロナウィルスの影響で業績が低迷している業者も多いかと思います。弊社も、コロナ禍以降は以前と比べ２～３割売り上げが落ちてしまっている状態で、資金繰りや販管費の見直しなどに奔走した2年間でした。現在も、オミクロン株がどうなるかという状況ですが、試行錯誤をしながら、これからのwithコロナに向き合っていければなと思っていますので、会員の皆様、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

昨年11月に当協会の前会長 松谷廣信氏がご逝去されました。

お亡くなりになられる直前までご壮健でおられただけに、ご逝去されましたことは誠に残念でなりません。あらためまして、ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。